

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2026年 7月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第9回仙台国際音楽コンクール優勝記念

エリザヴェータ・ウクラインスカヤ ピアノ・リサイタル演奏評

須永 誠 (音楽ジャーナリスト)



日時：2026年6月7日(日) 14:00 開演

会場：日立システムズホール仙台 コンサートホール

【演奏曲目】

モーツァルト：グルックの歌劇「メッカの巡礼」の「愚民の思うは」による10の変奏曲 K455

ドビュッシー：ベルガマスク組曲

リスト：スペイン狂詩曲 S254

ショパン：スケルツォ 第1番 口短調 op.20、第2番 変口短調 op.31、

第3番 嬰ハ短調 op.39、第4番 ホ長調 op.54

【アンコール】

久石譲：人生のメリーゴーランド

グリュンフェルト：「ウィーンの夜会」ヨハン・シュトラウスのワルツ主題による演奏会用/パヴァーゼ op.56

ラフマニノフ：楽興の時 op.16-4

第9回仙台国際音楽コンクールピアノ部門の覇者、エリザヴェータ・ウクラインスカヤの優勝記念リサイタルが2026年6月7日、仙台市青葉区の日立システムズホール仙台で行われた。仙台のファンが待ちに待った、「地元」初のソロ・リサイタルだ。

仙台国際の後、東京でのリサイタルや受賞記念アルバムで、プロコフィエフやラフマニノフ、ムソルグスキー、ブラームスなどを次々と取り上げ、幅広い音楽性を示したウクラインスカヤ。今回はショパンを中心に据えたプログラムを組んだ。持ち前のスケールの大きな造形と豊かな詩情が織り成す、躍動感あふれる音楽を披露した。

全体を通して強く印象に残ったのは、音楽を緻密に設計し、独自の解釈を加えて大胆に提示したこと。各作品の持つ「物語性」を的確に探り当て、豊かな語り口によって音楽を紡いでいく。

幕開きはモーツァルトの、グルックの歌劇「メッカの巡礼」の「愚民の思うは」による10の変奏曲。明るく、透明感あふれる音色をベースに、各変奏で音色を微妙に変化させ、それぞれの特色を明瞭に浮かび上がらせた。遊び心も十分備えている。短調に変わる第5変奏と幻想的な第9変奏は、特に魅力的だった。

2曲目はドビュッシーの「ベルガマスク組曲」。ドビュッシーは仙台国際の予選でエチュードを2曲演奏したが、今回はこの作曲家に対する姿勢が、より明確になった。

繊細な音色の変化はウクラインスカヤの持ち味。プレリュードは透明感を維持し、爽快にまとめ上げた。内声部も浮かび上がらせ面白いが、ロマンチックすぎる箇所も。メヌエットは夢幻的な響きを求めるあまり古典舞曲の輪郭、透明感がやや損なわれた感があつた。

前2曲のそんな不満をすべて吹き飛ばしたのが「月の光」。ルバートは極力控え、メロディを歌わせすぎるところは全くない。ペダリングは非常に繊細で緻密に計算され、見事な透明感を生み出した。パスピエは、あたかも爽やかな風が吹き抜けていくようだ。軽快で推進力があつた。柔らかなスタッカートにもひかれた。

前半最後の「スペイン狂詩曲」は、リストの作品の中でも屈指の難曲。彼女は度々この曲を演奏しており、「自家薬籠中の一曲」と言えるかもしれない。超絶技巧の見本市のような曲だが、ウクラインスカヤの演奏はそのことを忘れさせる。華麗さをことさら強調することはないが、オーケストラ的な厚みは十分で、透明感あふれる響きで鮮やかな色彩を紡ぎ出した。特徴的な



■お問い合わせ／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel:022-727-1872 Fax:022-727-1873 Email:info@simc.jp URL:https://simc.jp

は温かみのある音色と、随所に顔を出す歌心。情熱的だが、構築的で洗練されている。知的にコントロールされたリストと言えるだろう。この曲について彼女は「愛の力に満ちている」と語っていたが、演奏に触れて納得した。

後半はショパンのスケルツォ全4曲。ショパンが20～30代にかけて書いた、それぞれ独立した作品だが、続けて聴くと作曲家の作風の変化や技術的、精神的な成熟への軌跡が見えてくる。ウクラインスカヤは、4曲をショパンの「心の旅の道筋」として捉えているように感じた。

リストを思わせる激烈な表現で精神的葛藤を表現した第1番から、音色のコントロールが際立った第2番、交響的な響きと壮大な構築感が見事だった第3番。そして前3作の悲劇的な激しさと一線を画す第4番は、格段の深みを感じさせた。楽曲内、そして各楽曲間での表情の変化を鮮明に描き上げ、最後に俯瞰的に第1～3番と第4番を対比させてみせる。物語性豊かで、説得力があった。第4番はショパンが芸術的、精神的な苦しみを経て到達した、全てを超越した境地を示したとも言える曲。自らプログラムに記した「嵐の後に訪れる安らぎと幸福」をしっかりと具現化していた。

アンコールは久石譲の「人生のメリーゴーランド」(「ハウルの動く城」から)、グリュンフェルト「ウィーンの夜会」、ラフマニノフ「楽興の時」作品16-4。ヴィルトゥオジティを發揮した2曲の前に取り上げた久石は、メルヘンチックに楽しくまとめた。日本人作品へのリスペクトがにじみ出ていて、誇らしく感じた。

第9回仙台国際音楽コンクール公式CD販売中! 各2,640円(税込)

ムン・ボハ ヴァイオリン部門最高位



第9回仙台国際音楽コンクール ライヴCD FOCD9927

〔収録曲〕ブルッフ:スコットランド幻想曲 op.46

ドヴォルザーク:ヴァイオリン協奏曲 イ短調 op.53

モーツァルト:カッサシオン長調 K63からV.アダージョ

〔指揮〕広上 淳一

〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団

第9回仙台国際音楽コンクール最高位受賞記念CD FOCD9934

〔収録曲〕ダラピッコラ:タルティニアーナ 第2番

グリーグ:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調 op.13

シューベルト:幻想曲 ハ長調 D934

ヴィエニャフスキ:「ファウスト」の主題による幻想曲 op.20

〔ピアノ〕チェルシー・ワン



エリザヴェータ・ウクラインスカヤ ピアノ部門優勝



第9回仙台国際音楽コンクール ライヴCD FOCD9928

〔収録曲〕モーツァルト:ピアノ協奏曲 ハ長調 K467

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

〔指揮〕高関 健

〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団

第9回仙台国際音楽コンクール優勝記念CD FOCD9935

〔収録曲〕ラモー:新クラヴサン曲集(1726/27)組曲 ト調より「雌鶏」、「エジプトの女」、「未開人」

モーツァルト:グルックの歌劇「メッカの巡礼」の「愚民の思うは」による10の変奏曲 K455

ブラームス:16のワルツ op.39

プロコフィエフ:「シンデレラ」からの10の小品 op.97

リスト:スペイン狂詩曲 S254

